

CROランキングの正しい見方 規模比較と会社の選び方

CROに公式ランキングは存在せず、公開データで規模を読み自分の軸で選ぶのが正確です。



サイトごとに順位が
バラバラで…どれが
正しいんですか…!?

そもそも公式の順位表なんて無い
のよ。データの読み方を教える
わ。



- 公式ランキングは存在しない

順位表



日本CRO協会も各社公式も売上・施設数の順位を非公表

使える一次情報



公式開示の売上高・従業員数／協会正会員名簿／事業範囲

正しい読み方



公開データで規模を比較し、自分の軸で選ぶ

データは嘘をつかないわ。嘘をつくのは順位を盛りたい人間の方なの。



- まずCRO業界全体の規模感



総売上高

会員28社で約2,168.3億円（前年比5.7%減）



医薬品業務

1,910.3億円で全体の88.1%を占める



人員規模

モニタリングを担うCRAだけで約6,888人が働く世界

これは協会会員28社の集計値。業界の全数ではない点は覚えておいて。



● 公表数値がそろう主要3社

1 IQVIA（グローバル系）
日本5,517名・世界約93,000名・100か国超

2 シミック（国内系）
日本初のCRO・グループ売上約1,063億円・7,761名

3 イーピーエス（国内系）
3,303名・開発全般を一貫受託

正会員10社が客観的な基準になるんですね…！
これなら安心して比べられます。



● 規模だけで選ばない3つの判断軸



規模とグローバル体制

大型国際共同治験の経験に直結



得意領域と受託形態

FSPかFSOかでキャリアの幅が決まる



働き方とキャリアパス

薬事・DM・統計への異動可能性で見る



3つを組み合わせて考えると、自分に合う会社が浮かび上がる

なるほど！



• まとめ | 順位ではなく公開データと3つの軸で選ぶ

- ✓ CROに公式ランキングはなく、公開データで規模を読むのが正確
- ✓ 業界は会員28社・約2,168億円・CRA約6,888人の規模
- ✓ 規模・得意領域と受託形態・キャリアパスの3軸で見極める

順位表に振り回されず、まずは公開データという一次情報を自分の手で集めることから始めましょう。

